

一般社団法人 日本臨床スポーツ医学会

2021 年度第 2 回理事会議事録

開催日時： 2022 年 5 月 14 日（土） 15：00 より 17：00

開催場所： ステーションコンファレンス東京 「402C+D」会議室  
（東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー）

※テレビ会議システムを用いての開催

開催場所出席理事：赤間 高雄 武田 友孝 土屋 明弘 土肥美智子 馬場 礼三  
松本 秀男 山澤 文裕

開催場所出席監事：永富 良一

WEB 出席理事：大森 豪 勝川 史憲 木村 穰 島田 和典 高橋 敏明  
田島 文博 谷 諭 帖佐 悦男 津下 一代 鳥居 俊  
中川 泰彰 藤谷 博人 細井 雅之 牧田 茂 松田 貴雄  
山下 敏彦 吉矢 晋一

WEB 出席監事：原 邦夫

議事録作成者：松本 秀男

議長：山澤 文裕

上記のとおり出席があり、本理事会は適法に成立したので、山澤文裕は議長となり本理事会がテレビ会議システムを用いて開催する旨を宣した。

当テレビ会議システムは、出席者の音声・映像が即時に他の出席者に伝わり出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認され、議案の審議に入った。

テレビ会議システムは終始異常なく、議長は以上をもって本日の議事を終了したことを宣し 17 時 00 分閉会した。

議案及び決議事項は以下のとおりである。

#### 議事の経過の要領及びその結果

##### （1）議長選任

理事長（代表理事）松本 秀男は、開会に当たり、議長として理事 山澤 文裕を指名したところ、同人は直ちに議長就任を承諾した。

## (2) 定足数の確認

議長は本日の出席が理事 24 名であり、理事総数 25 名中 24 名の出席を得て、定款 35 条第 1 項の「理事の過半数が出席」していることにより理事会が有効に成立したことを報告した。

## (3) 議案の審議状況及び議決結果等

### 審議事項

#### 第 1 号議案 名誉会員候補について

議長は、理事長が推薦した水田 博志先生、宗田 大先生および川久保清先生について承認を求めたところ、満場異議なく承認された。定時総会にて承認いただくこととする。

### 報告事項

#### 2021 年度中間報告

##### 1. 2021 年度学会員数中間報告

議長は資料に基づき 2021 年 10 月 1 日から 2022 年 4 月 19 日までの学会員数について報告した。准会員はほぼ変わらないが、正会員が微減となっている。年会費未納者は例年通りの数であるが、7 月に事務局より再請求をすることとする。

##### 2. 2021 年度中間収支報告

議長の指名により財務委員会委員長 理事 吉矢 晋一は資料に基づき 2021 年 10 月 1 日から 2022 年 4 月 19 日までの収支について報告した。年会費は 83%ほどの回収率となっている。第 32 回学術集会は 4,851,834 円の支出超過となっていることが報告された。オンライン開催へ変更となったことにより、セミナー収入減や会場のキャンセル費用が計上されたことにより超過になったことが報告され、承認された。

### 各委員会審議・報告事項

#### 総務委員会

##### 倫理・COI 小委員会報告

倫理・COI 小委員会委員長 理事 津下 一代は、日本医学会 COI 管理ガイドライン 2022 が策定されたことにより、当学会の COI 自己申告書、COI 管理に関する指針、指針の細則についても改定の必要があるとして、改定案を提示した。修正の有無の確認を 11 月の理事会までに行い、理事会にて最終改定案を承認し、定時総会にて承認を頂き、2023 年 4 月 1 日の施行のスケジュールにて、進めていくことが承認された。

## 財務委員会

### 委員会報告

財務委員会委員長 理事 吉矢 晋一より、学会の財務状況の現状についての報告とそれに基づく今後の方針についての提案があった。現状の繰り越し金が1億1642万円となっており、同規模の他の学会と比較して多い状況となっているが、今後の学会活動収支が赤字になる可能性があることや、学術集会の中止などの予期せぬ事態が発生した場合の準備費用などを勘案すると、今後は収支均衡予算を基本とする必要があることが提案され、承認された。

## 編集委員会

### 1. 学会誌投稿状況について

編集委員会委員長 理事 勝川 史憲は、2018年度、2019年度、2020年度およびオンライン投稿システム導入後の2021年度の投稿総数と査読状況について報告した。今年度はオンラインシステムの導入により、順調に査読が進んでいることが報告された。

### 2. 第32回学術集会依頼原稿論文状況について

編集委員会委員長 理事 勝川 史憲は、学会誌に掲載予定の教育研修講演3とシンポジウム5が2号に掲載されており、残りの原稿の未提出の先生に再々催促をして掲載に向けて準備を進めて行くことを報告した。オンラインジャーナルについては、医学中央雑誌へのリンク作業が完了したこと、およびJ-STAGEへのリンクの依頼にむけて作業を進めていることが報告された。

## 学術委員会

### 1. 2021年度各部会中間報告

学術委員会委員長 理事 鳥居 俊は、競技スポーツ部会の3つの小委員会および健康スポーツ部会の2つの小委員会の中間報告を行った。健康スポーツ部会サステナブル小委員会にて製作している書籍が現在編集段階に入っていることが報告された。

### 2. アスレティックトレーニング学会との合同プロジェクトについて

学術委員会委員長 理事 鳥居 俊は、合同プロジェクトの共同声明が4月22日に両学会のホームページに公開され、両学会の学会誌にも掲載されたことが報告された。

今後は、学術委員会にて作成した外傷・障害リストをホームページに公開し、会員からパブリックコメントを募集し、ブラッシュアップをして行く予定であることも報告された。

## 資格審査委員会

### 1. 准会員審査結果

資格審査委員会委員長 理事 藤谷 博人は、資料に基づき 2021 年 10 月 1 日～2022 年 4 月 19 日にかけての准会員資格審査の対象となった 27 件について、全 27 件すべて入会を資格審査委員会にて了承したことを報告した。

### 2. 准会員から正会員への資格申請 審査結果について

資格審査委員会委員長 理事 藤谷 博人は、2 月に准会員から正会員への申請が 5 名あり確認した。了徳寺大学 越田専太郎 准会員、関西福祉科学大学 三谷 保弘 准会員、東前橋整形外科病院 西亮介 准会員、筑波大学 竹村雅裕 准会員、東京保健医療専門職大学 鳥居昭久 准会員について、資格審査委員全員から承認を受けたため、理事へ意見を求めた所、満場一致で承認を得た。

## 研究倫理委員会

### 委員会報告

研究倫理委員会委員長 理事 牧田 茂は、4 月 1 日の個人情報の保護に関する法律の改正により、大学病院や研究機関以外の医療機関ではオプトアウトによる同意が認められない可能性があり、研究の推進や発表等に支障が出る可能性が出てくるが、個人情報保護法開催に伴う生命科学・医学系指針一部改正のガイダンスがまだ公開されていないため、規約などの策定が進んでいないことが報告された。

## オリンピック・パラリンピック総括委員会

### 委員会報告

オリンピック・パラリンピック総括委員会委員長 理事 赤間 高雄は、東京 2020 大会の参加状況調査を web アンケートにて行い解析作業を進めており、それを基に学会の活性化につながる提案について検討を進めて行くことを報告した。また、東京 2020 大会で顕在化した臨床スポーツ医学的課題に対しての現状の整理作業についても基礎データの収集も行って行くことも報告された。

理事 山澤 文裕より、当学会も参加している AC2020（2020 年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急・災害医療体制を検討する学術連合体）にて編纂された、マスギャザリング医療対応ガイドブックがコンソーシアムホームページのトップページに掲載されたことが報告された。

## 広報委員会

### 会員専用サイトについて

広報委員会委員長 理事 島田 和典は、会員専用サイトの運用状況について報告

した。会員専用サイトへのログインされた数の割合が6割弱となっており、7～8割を目標に進めて行くこととし、学会誌送付の際にメールアドレス登録や会員専用サイトへのログインの促進文書の同封などを行うことが報告された。将来的に学会から会員への連絡方法がメール以外の方法が残ることへの対応策の検討が必要である。会費納入状況のサイトへのアップについては、現在最終調整中である。編集委員会とのデータ共有については、6月を目途に行う予定である。

また、ホームページの充実（一般向けページの作成等）や、SNS等を使用している学会広報活動について、出席理事より提案があり、それについても検討をしていくこととする。

## 国際委員会

トラベリングフェローおよび学術集会での英語セッション導入について

国際委員会委員長 理事 松本 秀男より、AMSSM（米国臨床スポーツ医学会）とのトラベリンフェロー交換の再開、ノルウェーとのトラベリングフェロー交換について、および今年度の学術集会からの英語セッションの導入について、以上の提案があり、承認された。

## 教育研修委員会

委員会報告

教育研修委員会委員長 理事 大森 豪は、教育研修制度の策定に向けての準備状況について報告した。教育研修システム構築についての第1次アンケート調査の結果について報告し、協力施設確認を含めた第二次調査をする予定であることが報告された。

出席理事より、現場帯同（見学）による研修、小児科との連携の拡充の提案があった。これらについても検討をしていくこととする。

## その他の報告事項

第33回学術集会進捗状況について

会長の理事 山下敏彦より進捗状況について報告があった。ロイトン札幌のみでの現地開催を基本とし、ポスター発表はオンラインでの発表とすること、現地開催後のオンデマンド開催も行うことが報告された。研究倫理に関する教育講演を開催する。また、国際委員会の議案で承認された、英語でのセッションについても行っていただくこととする。

第34回学術集会 第35回学術集会予定について

理事 勝川 史憲は、第34回学術集会を2023年11月11日（土）、12日（日）の2

日間、パシフィコ横浜ノースにおいて開催する旨および準備状況について報告した。

続いて理事 大森 豪は、第 35 回学術集会を 2024 年 11 月 16 日（土）、17 日（日）の 2 日間、朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンターにおいて開催する旨を報告した。

「学協会における研究公正に関する取組と現状」アンケート調査結果レポートについて  
議長より、昨年度に依頼があったアンケート調査について、先方で調査結果のレポートがまとめられたので、報告があった。

#### 次回の理事会日程の件

議長は、次回の理事会が第 33 回学術集会前日の 2022 年 11 月 11 日（金）の 15：00～17：00 に学術集会会場（ロイトン札幌）内で部分 WEB 会議にて行われる予定である旨を述べた。

以上を以て、審議すべき予定につき全て了したので、閉会を議長は宣した。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し定款第 36 条第 2 項の規定により以下に記名押印する。

2022 年 5 月 14 日

一般社団法人日本臨床スポーツ医学会

理事長	松本 秀男	代表印
議長 副理事長	山澤 文裕	⑩
監 事	原 邦夫	⑩
監 事	永富 良一	⑩